

ELMO

音量リモコンユニット

VR-6122

取扱説明書

このたびは、エルモ 音量リモコンユニットをご導入いただきまして誠にありがとうございます。

正しく使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。また、お読みになった後は大切に保管して下さい。

目 次

1. 安全上のご注意	2
2. 免責事項について	6
3. 使用上のご注意	6
4. 設置上のご注意	6
5. 概要	7
6. 仕様	7
(1) 本体	7
(2) 外観	8
(3) 付属品	8
7. 各部の名称と機能	9
(1) フロントパネル	9
(2) リアパネル	10
(3) コネクタ信号表	11
8. システム設定	13
(1) FORMATスイッチ	13
(2) 設定例	14
9. RS-232C制御	15
(1) 通信プロトコル	15
(2) コマンドフォーマット	15
(3) 制御コマンド	16

1. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために－必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



名称：注意

意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：禁止

意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。



名称：風呂場・シャワー室での使用禁止

意味：製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



名称：接触禁止

意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



名称：分解禁止

意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



名称：強制

意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：電源プラグをコンセントから抜け

意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。



警告

万一、煙が出ている、変なおいや音などがするとき、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜く。

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

ただちに販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)



万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

それから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器のキャビネットは外さない。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



この機器を改造しない。

火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



電源電圧（交流100V）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。



この機器に水や異物を入れたり、またぬらさない。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

コードが破損して、火災・感電の原因となります。



コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷にしない。

コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を乗せてしまうことがあります。）





警告

風呂場・シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、ほこりを取り除く。
電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。



雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどには触れない。
感電の原因となります。



この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、押し込んだりしない。
火災・感電の原因となります。



注意

移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う。
感電の原因となることがあります。



この機器を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。





注意

キャスター付きの台に機器を設置する場合には、キャスター止めをする。
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。



この機器に乗ったり、重いものを乗せない。
特に、小さなお子様のいる使用環境ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、
けがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることが
あります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



電源プラグは根元まで差し込んでも、ゆるみがあるコンセントに接続しない。
発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの
交換を依頼してください。



風通しの悪い狭い所に機器を押し込まない。
機器の設置は壁から10cm以上の間隔を置く。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



接続は指定のコードを使用する。
指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、火災の原因と
なることがあります。



屋外で使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



この機器の通風孔をふさがない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。(この機器
には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの側部に通風孔があげてあります。)



オーディオ機器、ビデオ機器、その他の機器を接続する場合は、
電源を切り、各々の機器取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



2. 免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化、消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者が修理、改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

3. 使用上のご注意

- この取扱説明書の内容を遵守ください。取扱説明書に記載されていない使い方をしますと事故の原因となります。
- 本機の使用 방법에不明な点がある場合は、お求め頂きました販売店か弊社支店、営業所までお問い合わせ下さい。
- 本機は日本国内専用です。必ず AC100V 50/60Hz でお使いください。電源の異なる外国では使用できません。
- 本機は屋内専用です。屋外では使用できません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房機器の近くに放置しないでください。変色、変形、故障の原因になることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風のアたる場所、振動の多いところには置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：0℃～40℃ 湿度：30%～85%（結露しないこと）
- 清掃にはシンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。塗装が剥げたり印刷が消えることがあります。
清掃には中性洗剤を水で薄めたものを柔らかい布に浸し、きつく絞ってから軽く拭いて汚れを取って下さい。

4. 設置上のご注意

- 定格を超える使い方はしないでください。定格を超えての使用は発煙、発火や感電による事故や故障の原因となります。
入力定格は AC100V 50/60Hz で最大 10W です。
- ラックマウントの際には EIA 規格相当のラックにマウントしてください。
- ラックマウントの際には必ず上下に空冷のための隙間を空けてください。
- ラックマウントの際には支えとなる L 型レールを併用して下さい。
- 設置の際、端子部に引っ張り等の負荷が加わらないよう、ラック内部にてコードを締結するなどの処置を行って下さい。
- 全ての接続は本機の電源を切った状態で行ってください。

5. 概要

本機は、音量の増減を本体ボリュームつまみ及び、外部リモートにより任意に操作する音量リモコンユニットです。

特長

- ・ 2系統のステレオ入出力をそれぞれ独立して使用又は、ミキシング使用することが可能です。
- ・ 外部リモートはRS-232C・無電圧メイク接点・アナログ電圧に対応しています。
- ・ 音量の減衰量は、 $-\infty$, -79dB ~ +10dB までを7セグメントLEDで表示します。

6. 仕様

(1) 本体

入力		不平衡ステレオ 2CH (RCA ピン 2 回路)
	規定レベル	-10dB (インピーダンス 10k Ω)
出力		不平衡ステレオ 2CH (RCA ピン 2 回路) 適合負荷インピーダンス 600 Ω 以上
	規定レベル	-10dB (減衰量 0dB、負荷インピーダンス 10k Ω)
減衰範囲		$-\infty$, -79~+10dB (拡張モード/リニアモード 選択式) ※1
ミキシング出力		CH1 より出力 (CH1 ステレオ、CH2 ステレオ/モノラル 選択)
L/R 個別音量制御		CH1, CH2 をそれぞれ設定可能 (RS-232C のみ減衰制御可能、レベル表示無し)
オーディオ特性	周波数特性	20~20kHz (\pm 2dB)
	高調波歪率	0.05%以下 (IFH-A)
	S/N 比	-80dB 以下 (IFH-A)
	クロストーク	-70dB 以下
減衰操作	本体つまみ	2CH (L/R 連動動作時)
	外部リモート	RS-232C、無電圧メイク接点、アナログ電圧 (DC 0~5V) ※2
	CH1, 2 連動	L/R 連動動作時 ※3
減衰量表示		7セグメント表示 (L/R 連動動作時)
初期出力設定		-10dB (ユーザー設定可能)
動作電源		AC100V, 50/60Hz
消費電力		10W
動作温度		0~40 $^{\circ}$ C (結露しないこと)
保存温度		-20~60 $^{\circ}$ C (結露しないこと)
外形寸法		幅 482mm、高さ 44mm、奥行き 250mm (EIA 1U サイズ)
質量		3.4kg

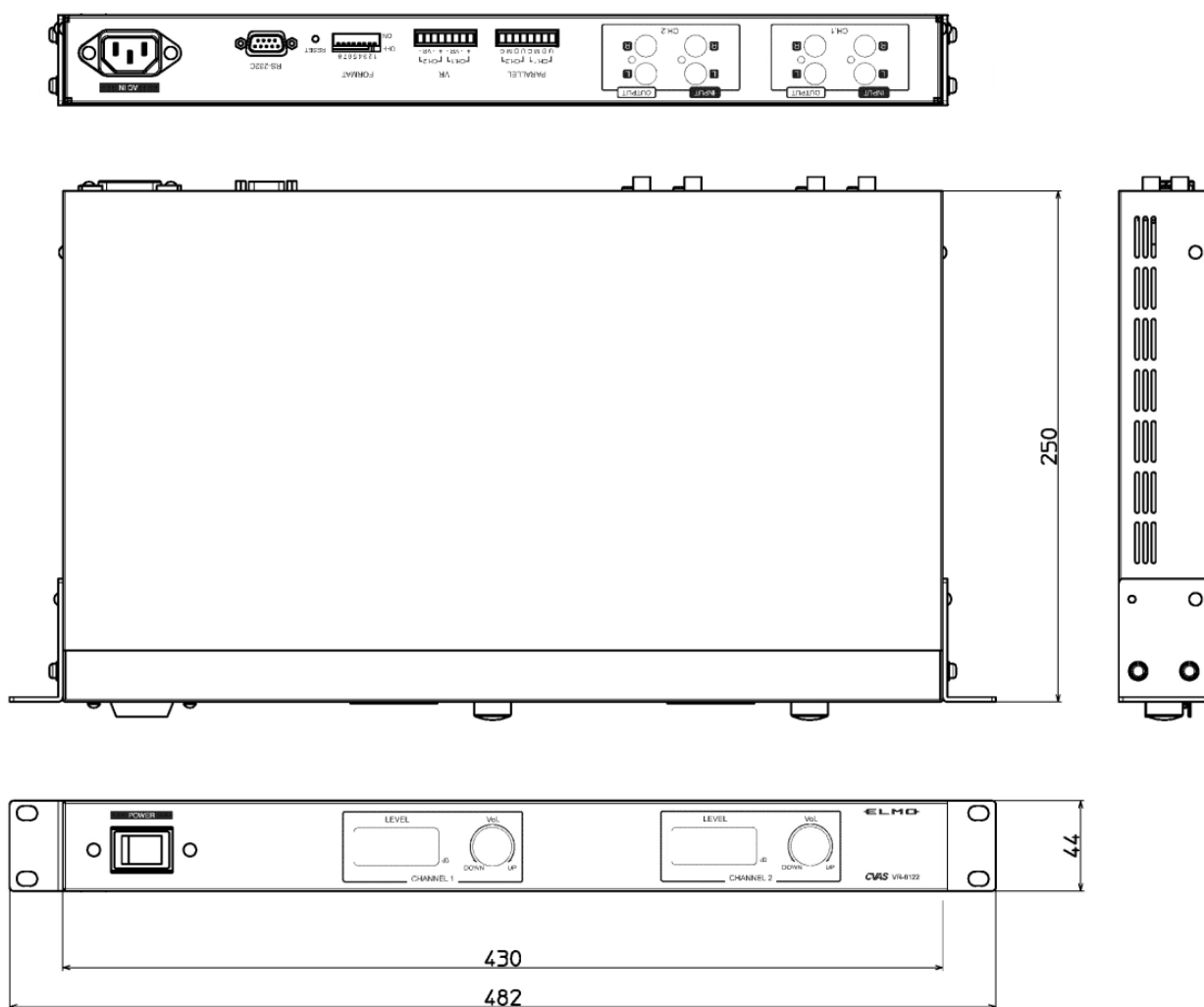
※1) 「 $-\infty$ 」はミュート動作となり、アナロググラウンドと内部接続されます。

※2) アナログ電圧制御は無電圧メイク接点のミュートのみの併用可能。

本体つまみ及び、その他の外部リモート方式と併用できません。

※3) 無電圧メイク接点、アナログ電圧制御時は、CH1 の減衰制御で CH1, 2 を連動動作。

(2) 外観



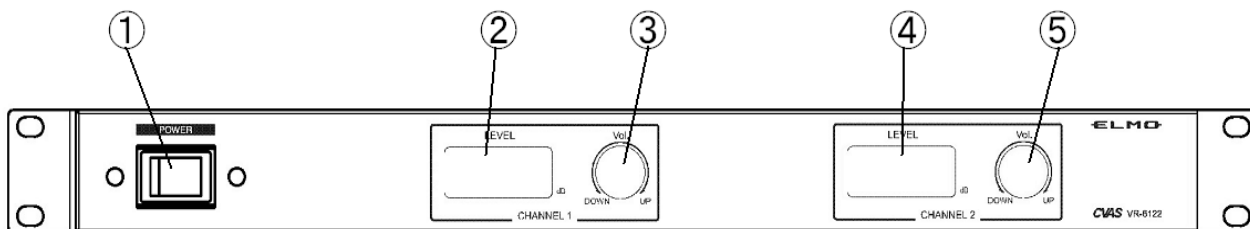
※ 仕様及び外観等は改良のため予告なく変更することがあります。

(3) 付属品

- | | | | |
|--------------------|-----|------------------|-----|
| ・ 取扱説明書(本書) | x 1 | ・ 登録保証カード | x 1 |
| ・ Dsub 9P(メス) コネクタ | x 1 | ・ Dsub 9P プラグシエル | x 1 |
| ・ 8P コネクタ | x 2 | ・ 電源コード | x 1 |

7. 各部の名称と機能

(1) フロントパネル



① POWER (電源スイッチ)

本機の電源を「入切り」します。

② CH1 レベル表示 (7 セグメント LED)

CH1 の減衰量 (dB) を表示します。

ミュート時及び、L/R 個別音量制御時は「---」表示となります。

③ CH1 レベル調整ツマミ

CH1 の減衰量を調整します。

※ミュート時、L/R 個別音量制御時及び、アナログ電圧制御時は調整できません。

④ CH2 レベル表示 (7 セグメント LED)

CH2 の減衰量 (dB) を表示します。

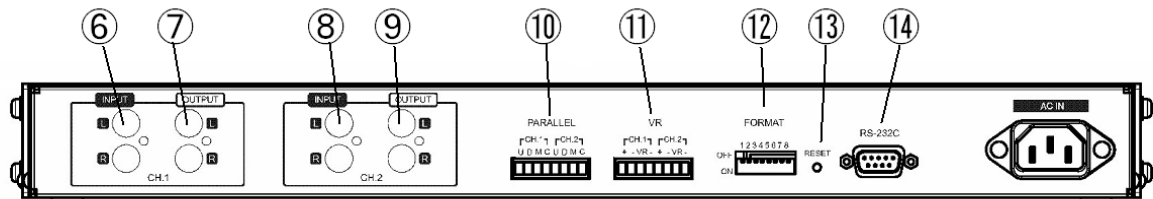
ミュート時及び、L/R 個別音量制御時は「---」表示となります。

⑤ CH2 レベル調整ツマミ

CH2 の減衰量を調整します。

※ミュート時、L/R 個別音量制御時及び、アナログ電圧制御時は調整できません。

(2) リアパネル



- ⑥ [CH1] INPUT 端子
音声信号を入力します。
- ⑦ [CH1] OUTPUT 端子
音声信号を出力します。ミキシング動作時はミキシングされた音声出力されます。
- ⑧ [CH2] INPUT 端子
音声信号を入力します。
- ⑨ [CH2] OUTPUT 端子
音声信号を出力します。
ミキシング動作時は使用できません（音声出力がありますが、故障ではありません）
- ⑩ PARALLEL コネクタ
無電圧メイク接点制御用コネクタです。
- ⑪ VR コネクタ
アナログ電圧制御用コネクタです。
- ⑫ FORMAT スイッチ
動作モード設定用スイッチです。スイッチの操作は電源を切った状態で行ってください。
- ⑬ RESET スイッチ
本機をリセットします。（設定内容は消去されません）
- ⑭ RS-232C コネクタ
制御通信用RS-232Cコネクタです。

(3) コネクタ信号表

a. PARALLEL コネクタ

無電圧メイク接点により、音量のリモート操作ができます。

※1 カウント増/減する為には、接点を閉じている時間は 30msec 以上必要です。

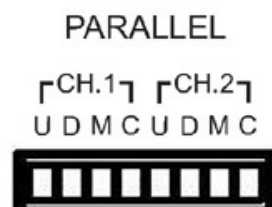
※「U(増)」 / 「D(減)」は連続 8 カウントまでは 200msec 間隔、以降は 30msec 間隔で動作します。

※「M(ミュート)」端子は接点を閉じている間、動作(消音)します。

ミュート中は増/減動作しません。

ピン番号	信号名	動作
1	U(UP)	CH1 音量「増」
2	D(DOWN)	CH1 音量「減」
3	M(MUTE)	CH1 音量「ミュート」
4	C(コモン)	共通コモン
5	U(UP)	CH2 音量「増」
6	D(DOWN)	CH2 音量「減」
7	M(MUTE)	CH2 音量「ミュート」
8	C(コモン)	共通コモン

※「C(コモン)」は内部で接続されています



b. VR コネクタ

アナログ電圧 (DC 0~5V) により、音量のリモート操作ができます。

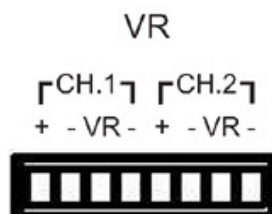
※可変抵抗を接続する場合には、「+」 / 「-」 / 「VR」端子を使用してください。

推奨抵抗値：10kΩ (B)

※直接電圧を加える際は、「-」 / 「VR」端子を使用してください。

接続の際は電圧範囲、極性に注意してください。

ピン番号	信号名	動作
1	+(+5V)	基準電圧 (+5V) 出力
2	-(GND)	GND
3	VR(SIGNAL)	CH1 アナログ電圧入力
4	-(GND)	GND
5	+(+5V)	基準電圧 (+5V) 出力
6	-(GND)	GND
7	VR(SIGNAL)	CH2 アナログ電圧入力
8	-(GND)	GND

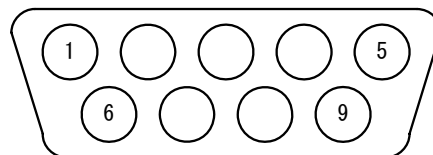


c. RS-232C コネクタ

外部コントローラから RS-232C でリモート操作する場合に使用します。

※RS-232C 規格の通信距離は最大 15m です。規格値以上の通信距離を保証できません。

ピン番号	信号名	入出力
1	NC	—
2	RxD	I
3	TxD	O
4	NC	—
5	GND	—
6	NC	—
7	NC	—
8	NC	—
9	NC	—



Dsub9P (オス)
正面から見る

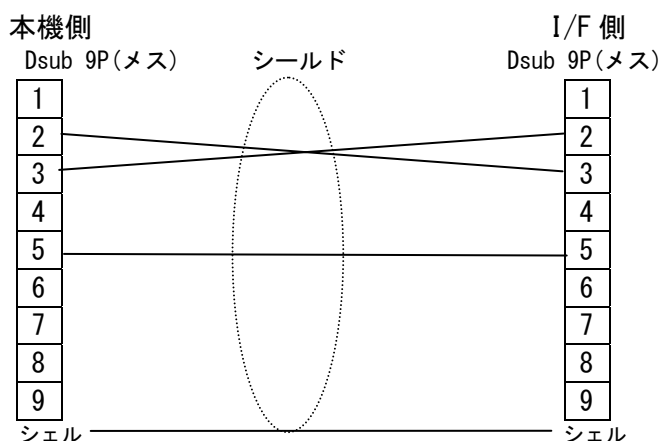
注1) NC端子には何も接続しないでください。

注2) 入出力の矢印は、信号の方向を表しています。

0 : 本機からの出力

I : 本機への入力

参考) 弊社RS-232C I/Fとの接続ケーブル



8. システム設定

(1) FORMAT スイッチ

FORMAT スイッチを使用して、本機の動作モードを設定します。

※スイッチ操作は電源を切った状態で行ってください。設定は電源投入時に有効になります。

※工場出荷時設定は全て OFF です。

No	名称	機能	OFF	ON
1	起動時初期値設定	起動時初期値設定	運用	設定
2	アナログ電圧制御	アナログ電圧制御	無効	有効
3	CH1 L/R 個別制御	CH1 L/R 音量レベルを個別に制御	連動 (ステレオ)	個別制御
4	CH2 L/R 個別制御	CH2 L/R 音量レベルを個別に制御	連動 (ステレオ)	個別制御
5	CH1/2 連動	CH1 制御に CH2 を連動	無効	有効
6	ミキシング	CH1 音声に CH2 音声をミキシング	個別	ミキシング
7	動作モード	拡張/互換(リニア)の動作切換	拡張	互換
8	予約	必ず OFF で使用してください	運用	

① 起動時初期値設定

コントロールノブで変更したゲイン値を初期値として内部保存します。

スイッチを ON にして電源投入後、レベル調整ツマミを操作して、希望レベルに合わせます。無操作期間が約 2 秒間続くと、その時のレベルを内部保存します。設定後は電源切断後、スイッチを OFF (運用)に戻してください。

※初期値は拡張・互換それぞれのモード毎に設定できます。(工場出荷時は共に「-10dB」です)

※個別制御(③、④参照)に設定した CH の音量調整は RS-232C でのみ可能です。

② アナログ電圧制御

アナログ電圧制御もしくは外付け可変抵抗による操作の有効/無効を切換えます。

※アナログ電圧制御時は、無電圧メイク接点による「ミュート」以外の全ての操作が無効になります。(RS-232C の「問合せ」・「設定」コマンドは使用できます)

※L/R 個別制御では使用できません。

③④ L/R個別制御 (CH1, CH2)

L/R 個別音量制御(レベル調整)を有効にします。(ステレオ動作時は L/R 連動します)

※L/R 個別制御動作時は、RS-232C による拡張モードコマンドのみレベル調整可能です。

⑤ CH1/2連動

無電圧メイク接点及びアナログ電圧による CH1 のリモート操作に、CH2 が連動します。

※アナログ電圧制御および接点制御時で、CH1, CH2 共に L/R 連動の場合に有効です。

⑥ ミキシング

CH1 音声と CH2 音声をミキシングして、CH1 より出力します。ミキシング時も音量調整は CH1, CH2 それぞれ個別に行う事ができます。

※CH1 ステレオ時のみミキシング可能です。CH2 は ステレオ/個別 のどちらでも可能です。

※CH2 の動作設定(スイッチ④)により、ミキシング動作が異なります。

CH1 出力	CH2 連動(ステレオ)		CH2 個別制御	
	Lch	Rch	Lch	Rch
Lch	◎	—	◎	◎
Rch	—	◎	◎	◎

◎ : ミキシング出力

⑦ 動作モード

音量調整動作モードを拡張/互換から選択します。

a. 拡張モード

粗密設定した減衰レベルテーブルに従ってレベルが変わります。1 カウント当たりの変化量がその時のレベルにより異なります。

※テーブルを設定することは出来ません

※7 セグ LED は 1dB 単位(小数点以下切り捨て)でレベル表示をします(カウント値は表示されません)。その為、カウント値が変化して実際のレベルが変化しても、表示が変化しない場合があります。

(例 カウント値「58」→「59」への変化時はどちらも「00」が表示されます)

レベルテーブル

レベル	カウント値	レベル	カウント値	レベル	カウント値	レベル	カウント値
-∞	30	-20.0	40	-4.5	50	3.5	60
-70.0	31	-19.0	41	-4.0	51	4.0	61
-60.0	32	-18.0	42	-3.5	52	4.5	62
-55.0	33	-17.0	43	-3.0	53	5.0	63
-50.0	34	-16.0	44	-2.5	54	5.5	64
-45.0	35	-15.0	45	-2.0	55	6.0	65
-40.0	36	-14.0	46	-1.5	56	6.5	66
-35.0	37	-13.0	47	-1.0	57	7.0	67
-32.5	38	-12.0	48	-0.5	58	7.5	68
-30.0	39	-11.0	49	0.0	59	8.0	69
-27.5	3A	-10.0	4A	0.5	5A	8.5	6A
-25.0	3B	-9.0	4B	1.0	5B	9.0	6B
-24.0	3C	-8.0	4C	1.5	5C	9.5	6C
-23.0	3D	-7.0	4D	2.0	5D	10.0	6D
-22.0	3E	-6.0	4E	2.5	5E		
-21.0	3F	-5.0	4F	3.0	5F		

b. 互換モード

1dB 刻みでレベルが変化します。

※弊社 音量リモコンユニット VR-5022 とコマンド互換です。

(2) 設定例

※⑧は常時「OFF」で使用してください

スイッチ番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
初期値設定 (注1)	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	選択
アナログ電圧制御	OFF	ON	OFF	OFF	選択	選択	選択
L/R 個別制御	OFF	OFF	選択 1	選択	OFF	条件 1	OFF
ミキシング	OFF	条件 2	OFF	選択 2	条件 2	ON	条件 2
CH1/2 連動	OFF	選択	OFF	OFF	ON	選択	選択

注1) RS-232C で設定する場合、「①-OFF」のみで設定できます。(拡張モード時)

条1) CH1 個別制御の場合、ミキシング動作出来ません。「⑥-OFF」で使用してください。

条2) CH2 個別制御の場合、「②⑤⑦-OFF」で使用してください。

9. RS-232C制御

(1) 通信プロトコル

通信方式 : 調歩同期式シリアル通信(全2重・非同期)
 ボーレート : 9600bps
 データ長 : 8ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : なし

(2) フォーマット

- ・ コマンドは1コマンド/1パケットの形態で行い、1つの処理を終了しない限り次のコマンドは受け付けられません。
- ・ コマンドは、「0D(hex)」で終了します。
- ・ コマンド、データはすべてhexコード・1バイトで指定します。
- ・ 応答有りモードの場合、コマンド受信時にACK・NCK返信を行います。
- ・ コマンドフォーマットは動作モード(FORMATスイッチ⑦)により決まります。
- ・ リアルモードオンの場合、ツマミ、無電圧メイク接点、アナログ電圧によるレベル変化時に、現在のレベルをRS-232Cで出力します。(応答無しモードの場合もデータ出力されます)

・ 拡張モード(6バイト固定長)

●コマンドフォーマット

コマンド	CH1 (L) データ	CH1 (R) データ	CH2 (L) データ	CH2 (R) データ	終了コード 0D (HEX)
------	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------------

●応答フォーマット

応答	CH1 (L) データ	CH1 (R) データ	CH2 (L) データ	CH2 (R) データ	終了コード 0D (HEX)
----	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------------

・ 互換モード(4バイト固定長)

●コマンドフォーマット

コマンド	CH1 データ	CH2 データ	終了コード 0D (HEX)
------	------------	------------	-------------------

●応答フォーマット

応答	CH1 データ	CH2 データ	終了コード 0D (HEX)
----	------------	------------	-------------------

(3) 制御コマンド

・VR内に「○」印のある項目は、アナログ電圧制御時に使用可能なコマンドです。

a. 拡張モード

分類	項目	コマンド 応答	CH1 データ		CH2 データ		備考	VR
			L	R	L	R		
設定	応答 有り モード	30	00	00	00	00	RS-232C 操作に対する 応答有無設定	○
	応答 無し モード	31	00	00	00	00		
	リアルモード オン	32	00	00	00	00	音量変化通知有無設定	○
	リアルモード オフ	33	00	00	00	00		
	初期値設定	34	nn	nn	nn	nn	起動時レベル設定	×
問合せ	初期値確認	44	00	00	00	00	起動時レベル設定問合せ	×
	レベル確認	45	00	00	00	00	現在レベル問合せ	○
音量操作	カウント値指定	61	nn	nn	nn	nn		×
応答	ACK(肯定)	E6	nn	nn	nn	nn	正常動作	
	NAK(否定)	E5	00	00	00	00	異常動作	

・nn：レベルテーブルのカウント値(HEXコード) ※P14 参照

範囲＝「00」、「30(-∞)」～「6D(10dB)」

※「00」の場合、そのチャンネルに対する設定および制御は行われません。

※ステレオモードの場合、R値は無効とし、L値をL,R両方に設定します。

b. 互換モード

分類	項目	コマンド 応答	CH1 データ	CH2 データ	備考	VR
設定	応答 有り モード	FF	00	00	RS-232C 操作に対する 応答有無設定	○
	応答 無し モード	FE	00	00		
	リアルモード オン	20	00	00	音量変化通知有無設定	○
	リアルモード オフ	21	00	00		
問合わせ	レベル確認	04	00	00	現在レベル問合せ	○
音量操作	CH1 レベル指定	11	nn	00	レベル直接指定	×
	CH2 レベル指定	12	00	nn		
	同時レベル指定	13	nn	nn		
	CH1 変化値指定	01	mm	00	レベル変化値指定	×
	CH2 変化値指定	02	00	mm		
	同時変化値指定	03	mm	mm		
応答	ACK(肯定)	06	nn	nn	正常動作	
	NAK(否定)	15	00	00	異常動作	

・nn：レベル値(HEXコード)

nn＝「0A(+10dB)」～「B0(-80dB)」

※マイナス値は2の補数で指定

※「B0(-80dB)」指定時は「ミュート」動作になります。

・mm：現在値からのレベル変化値(量)を指定する(HEXコード)

mm＝「0A(+10dB)」～「F6(-10dB)」

例) 変化値が「2」の時、mm＝02(+2dB)、mm＝FE(-2dB)










補修用性能部品について

当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

ELMO は、株式会社エルモ社の商標です。

株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本社	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号		(052)811-5131
修理相談窓口				(052)811-5135
<hr/>				
OA事業本部	〒550-0014	大阪市西区北堀江3丁目12番23号	三木産業ビル7F	 (06)7670-0025
東京支店	〒108-0073	東京都港区三田3丁目12番16号	山光ビル4階	 (03)3453-6471
名古屋支店	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号		 (052)824-1571
大阪支店	〒540-0039	大阪市中央区東高麗橋2番4号		 (06)6942-3221
九州支店	〒812-0039	福岡市博多区冷泉町2番8号	朝日プラザ 祇園2階	 (092)281-4131
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央4丁目10番14号	エトセビル2階	 (022)266-3255
広島営業所	〒730-0041	広島市中区小町5番8号	トルチェ2階	 (082)248-4800

URL:<http://www.elmo.co.jp>